

# 第3次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【令和元年度進捗状況】

令和2年9月

小平市教育委員会

# 目 次

第 1 未就学児に対する取組	
1 継続的な取組	・・・ 1
2 新たな取組	・・・ 5
第 2 小学校・中学校・高等学校に対する取組	
1 継続的な取組	・・・ 6
(1) 小・中学校における読書活動の推進	・・・ 6
(2) 図書館における読書活動の推進	・・・ 8
2 新たな取組	・・・ 10
3 その他	・・・ 11

【第3次小平市子ども読書活動推進計画】令和元年度 進捗状況調査報告書

第1 未就学児に対する取組

1 継続的な取組

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	乳幼児向けの絵本リストの配布 および図書館案内	健康推進課	・3～4 か月児健診時、図書館コーナーの設置	・3～4 か月児健康診査時に子どもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡すブックスタート事業を、図書館に協力して行った。年間で22回、受診者1,400人に対し1,380冊の絵本を渡した。絵本とともに、赤ちゃん絵本リスト、図書館案内、図書館利用者登録申込書を配付した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせの中止が1回、健診・読み聞かせ・絵本配付全て中止が2回あった。絵本を手渡せなかった方達には、郵送及び4月以降に実施された健診時に配付した)	・子育てに図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図っていく。
		図書館	・3～4 か月児健診時、会場に設置された図書館コーナーにて保護者に向けての絵本リスト等の配布	・3～4 か月児健康診査時に子どもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡すブックスタート事業(平成30年4月開始)を引き続き実施した。年間で22回、受診者1,400人に対し1,380冊の絵本を渡した。絵本とともに、赤ちゃん絵本リスト、図書館案内、図書館利用者登録申込書を配付した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせの中止が1回、健診・読み聞かせ・絵本配付全て中止が2回あった。絵本を手渡せなかった方達には、郵送及び4月以降に実施された健診時に配付した) ・講演会「赤ちゃん絵本のパワー」を、株式会社絵本ナビ編集長の磯崎園子氏を講師に開催した。 参加：58名	・保護者にも読み聞かせを体験してもらうことで、家庭においても絵本を通じた子どもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらうきっかけ作りとしていく。
2	図書館における行事の定期的な開催	図書館	・全館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的に開催。また、それぞれの地区館で独自のおはなし会を開催	・働いている保護者が多いことや、平日昼間は授業等で図書館に来られない子どもたちが多いことから、定例のおはなし会に土曜日、日曜日のおはなし会を加えた(中央図書館、小川西町図書館、津田図書	・土曜日、日曜日のおはなし会では、平日に来られない子どもたちや保護者に参加してもらうことができたため、来年度以降も引き続き継続していく。

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
				<p>館)。また、花小金井図書館で2回、上宿図書館で1回(参加者0名のため中止)、日曜日に不定期でおはなし会を行った。従来の平日のおはなし会は子どものみが参加対象であったが、日曜日のおはなし会については保護者も同伴可とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例のおはなし会【全館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>4歳児から1年生の部：99回(559名参加)</li> <li>小学生の部：99回(440名参加)</li> <li>4歳児から小学生の部：94回(663名参加)</li> </ul> </li> <li>・日曜日のおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>花小金井図書館(2回)参加：20名(大人7名、子ども13名)</li> <li>上宿図書館(1回)参加者0名のため中止</li> </ul> </li> <li>・「よるのおはなし会」 (夏の季節に合わせた少し怖い内容のおはなし会) <ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館147名、仲町図書館75名、花小金井図書館78名、小川西町図書館74名、喜平図書館97名、上宿図書館54名、津田図書館126名、大沼図書館80名参加</li> </ul> </li> <li>・「スペシャルおはなし会」 (クリスマスシーズンに合わせたおはなし会) <ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館134名、仲町図書館13名、花小金井図書館48名、小川西町図書館61名、喜平図書館195名、上宿図書館77名、津田図書館115名、大沼図書館33名参加</li> </ul> </li> <li>・「絵本のへや」 (0歳児からの子どもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等)【全館】 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加：延べ87回1,425名の参加</li> </ul> </li> <li>・4月23日の「子ども読書の日」に合わせて4月1日から5月15日を「こだいら子ども読書月間」とし、全館で絵本の展示やおはなし会等子どもと本を結ぶ行事を開催した。</li> <li>・児童書展示コーナーにおいては、季節に応じた図書の展示を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月24日以降の行事については中止とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よるのおはなし会」、「スペシャルおはなし会」は、毎年盛況であり、今後も内容を工夫しながら継続していく。</li> </ul>

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
3	「家庭教育講座」実施による家庭での読書の推進	公民館	・図書館員を講師とした、子どもの読書に関わる内容の講座の実施	・【中央公民館】 子育て支援講座「子どもに寄り添う子育て～初めての子育て応援します～」の中で、「子育てに絵本を～絵本の選び方・楽しみ方～」をテーマとした講座を実施した。受講：19名 ・【花小金井南公民館】 子育て支援講座「はじめての子育て～赤ちゃんと笑顔に～」の中で、「絵本と育児本」をテーマとした講座を実施した。受講：8名	・子どもの成長に絵本とのふれあいは、非常に重要である。また、保護者が絵本の選び方・楽しみ方を学ぶことは、子どもに絵本への興味を持たせるきっかけづくりとなることから、今後も同様な機会を提供するように努める。
		図書館	・公民館主催の「家庭教育講座」の「子どもへの読み聞かせ」に関わる講座において、講師として参加	・公民館主催の子育てに関する講座で、図書館職員が絵本に関する講座の講師を務めた。	・子育て中の保護者に役立つ絵本の情報を提供していく。
4	児童館における図書の充実	子育て支援課	・図書コーナーの設置 ・児童館職員またはボランティアによる「絵本のへや」、「かみしばい」などの定期的な開催	【花小金井南児童館】 「絵本のへや」10回、「かみしばい」10回、「子どもといっしょに楽しむおはなし会」1回 【小川町二丁目児童館】 「絵本のへや」19回 【小川町一丁目児童館】 「童歌とお話の会」10回、「読み聞かせの会」10回、「子守唄と紙芝居であそぼ」9回。	・子どもたちに好評なため、子どもたちの希望をもとに、図書の充実を図るとともに、担い手であるボランティアの確保に努める。
5	「子ども家庭支援センター事業」との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、図書館行事の掲載	・図書館案内を掲載した「子育てガイド」を8,880部発行し、図書館のほか、公民館、保育園、関係機関等、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。	・母子手帳配布時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に配布したことで、図書館の情報を発信することができた。今後も継続して実施し、情報提供していく。
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受入れ	・図書館情報も掲載した「子育てガイド」を図書館資料として受入れ、子育て関連コーナーや地域資料コーナーの書架に入れた。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。
6 ・ 8	幼稚園の図書館見学 ・ 幼稚園における読書活動の推進	図書館	・地域の幼稚園の図書館見学受入れ ・保護者向けの読み聞かせや絵本選びに関する講座の実施	・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で1園受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、子どもたちの今後の図書館利用に役立つような内容を伝えた。 幼稚園の図書館見学受入れ：1園 42名	・図書館見学では、普段は入れない場所に案内するなど、子どもたちの興味を引くものが多く、図書館の面白さを直接伝えることができた。今後も継続して実施する。

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
7	保育園における読書活動の推進	保育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育園での、日々の絵本の読み聞かせの実施</li> <li>・市内全市立保育園での「いとぐるま」（小平市子ども文庫連絡協議会）によるおはなし会の開催</li> <li>・市内全市立保育園での食育活動と協働した「絵本に出てくるメニュー」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士が子どもたちに日々読み聞かせを行っている。また、子どもたちが自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。</li> <li>・市内全市立保育園で、月1回程度「いとぐるま」による「おはなし会」を幼児クラス中心に行い、「今日の絵本」コーナーなどで保護者に向けて情報発信をした。</li> <li>・「絵本に出てくるメニュー」は毎年読書週間の前後に保育課栄養士の発信で行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの取り組みも、園児や保護者から大変好評であり、子どもたちが絵本とふれあうことで湧いてきた様々な興味が、保育内容の充実につながることもあるので、引き続き取り組んでいく。</li> </ul>
9	児童文学講演会の開催	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や児童文学の素晴らしさを伝えるため、大人向けに作家や専門家等の講演会等を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会「絵本の読み聞かせで子育てを楽しく」を、東京子ども図書館理事・風渡野文庫主宰の杉山きく子氏を講師に、小平市子ども文庫連絡協議会との共催で開催した。参加：65名</li> <li>・講演会「むしはともだち！昆虫絵本ができるまで」を、絵本作家のタダサトシ氏を講師に、小平市子ども文庫連絡協議会との共催で開催した。参加：46名</li> <li>・スライド講座「スライドで巡る『クマのプーさん』」を、中央大学名誉教授・前東京子ども図書館評議員の池田正孝氏を講師に小平市子ども文庫連絡協議会との共催で開催した。参加：53名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都立図書館で長年児童サービスを担当してきた講師から、絵本の魅力、子どもとの楽しみ方、お勧めの絵本等について伝えることができた。今後も小平市子ども文庫連絡協議会と協力し、大人に対する児童文学の啓発に取り組んでいく。</li> </ul>
10	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚に障がいのある子どもや日本語を日常語としない子どもに対する絵本の収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字による読書が困難な子どもたちに向け、布の絵本や遊具を活用した行事や展示を開催した。</li> <li>・4月の「発達障害啓発週間関連展示」、12月の「障害者週間特別展示」で、様々なハンディキャップサービスに関わる図書館資料やマルチメディアデジタル図書の展示と視聴コーナーを設置し、利用対象の子どもやまわりの大人たちに対しPRを行った。発達障害啓発週間関連展示では障がい者支援課と連携し、ペアレントメンター（発達障がいの子どもの持つ親の相談員）の紹介を併せて展示した。</li> <li>・外国語を日常語とする子どもたちに向け、外国語絵本を収集した。また、絵本の言語がわかりやすいよう書架の案内表示の工夫等、コーナーの整備に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字による読書だけでなくそれぞれの子どもに合った様々な読書の形があることを伝えるとともに、周りの大人たちにも情報提供することができた。今後も継続して実施する。</li> </ul>

## 2 新たな取組

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	おはなし室の開放	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児を持つ保護者が、子どもとともに絵本とふれあいながら図書館で過ごすことができるよう、おすすめの絵本を揃えておはなし室を開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者の参加する「絵本のへや」の終了後、おはなし室を開放し、親子で絵本を楽しむ場の提供を行った。</li> <li>・子育て中の保護者に自分自身の読書の時間を確保してもらうため、託児サービス付きで休館日に「図書館親子スペシャルデー」を開催した。場所の開放と共に保護者に対する図書館利用の支援を行った。 (図書館案内、大人向けの読み聞かせの会、おすすめの絵本の紹介、自由時間等)</li> </ul> 中央図書館 参加：17名(7家族)(大人9名、子ども8名) 小川西町図書館 参加：15名(7家族)(大人7名、子ども8名) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月から小さなお子様連れの方々も気兼ねなく図書館を利用できるよう、中央図書館で「乳幼児タイム」を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年目になる「図書館親子スペシャルデー」は、託児サービス付きで保護者自身の読書の時間がとれることから大変好評である。今後も開催館を増やすことができるよう検討していく。</li> <li>・地区図書館においても「乳幼児タイム」を実施することができるか検討していく。</li> </ul>
2	来館できない子どもと保護者へのサービス	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事開催日の検討 働く保護者のいる子ども等、平日昼間の来館が困難な利用者のため、土日・祝日等、日程を幅広く設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こだいら子ども読書月間」において、上宿図書館「土曜日の絵本のへや」(参加：13名)、中央図書館「日曜日の絵本のへや」(参加：40名)、「ぬいぐるみと楽しむおはなし会」(参加：21名)、「英語でおはなし会」(参加：22名)、喜平図書館「きへいとしょかん親子で楽しむおはなし会」(参加：21名)を開催した。</li> <li>・中央図書館及び複数の地区館で、定例のおはなし会に土曜日、日曜日を加えて実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日、日曜日のおはなし会では、平日に来られない子どもたちや保護者に参加してもらうことができたため、今後も引き続き継続していく。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への出張サービス(アウトリーチ) 事情により外出や図書館利用が困難な子どもがいる施設等に図書館員が出向き、おはなし会等のサービスができるよう検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【小川西町図書館】 たいよう福祉センターで出張おはなし会を開催し、大型絵本の読み聞かせ、布の絵本・布の遊具の紹介を行った。(参加：54名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の図書を紹介することにより活字の読書が困難な子どもたちが自分に合った読書方法を知る機会を作り、読書支援を行う。</li> </ul>
3	リサイクル本の提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル本を、市内の保育園等に提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭支援センターに対し46冊、子育て支援課に対し61冊提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の要望に応えるとともに、リサイクル本の有効活用ができた。今後も継続して実施する。</li> </ul>
4	広報の工夫	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館行事や子どものおすすめ本、図書館案内等の情報について、関係各課を通じて各施設等への協力を求め、地域により情報入手に差が出ないような効果的な広報活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが常にいる場所である学校にチラシやポスターの掲示協力を求め、情報が確実に届くように努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自身より保護者への広報が効果的な場合もあるため、保護者に向けた情報提供の仕方も引き続き検討していく。</li> </ul>

## 第2 小学校・中学校・高等学校に対する取組

### 1 継続的な取組

#### (1) 小・中学校における読書活動の推進

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	学校図書館活用年間計画の作成と実施	指導課・学校	・各校の実態に即した読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学校図書館の利用の促進と読書活動の時間の確保を行った。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	学校（指導課）	・子どもの問題解決のための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、学校図書館の機能の理解・啓発を継続して行った。	・学習情報センター機能の充実を図るため、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学務課	・学校図書館システムの整備 ・情報資源にアクセスできる環境の整備	・貸出、返却、蔵書点検などを行えるシステムの整備をし、システムを活用して図書の貸出等を行った。 ・「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務を行った。	・引き続き「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務や学校図書館での貸出等を行っていく。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備と、活用のための支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員によりシステム操作関連の相談等を行った。	・学校図書館システムに掲示板機能やメール機能、フォルダ機能を追加し、協力員との連絡や情報共有の利便性を高めていく。
4	市立図書館資料の活用	学校（指導課）	・図書館の調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）、学期ごとの学級文庫用の図書貸出（団体貸出）とその配送サービスの活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用していく。 ・今後とも調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じていく。 ・古くなった調べ学習用図書を順次新しいものに入れ替えていく。
		図書館		・調べ学習図書の貸出： 小学校 15,250 冊 中学校 705 冊 ・学級文庫への貸出： 小・中学校 17 校 11,078 冊	
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	・学校ごとの購入方針・廃棄基準の整備、蔵書の整備	・国基準の達成に向けて、各学校の蔵書率に応じて予算を令達した。 ・国基準の達成に向けて学校ごとに計画的に図書を購入するとともに、廃棄基準については全国学校図書館協議会で作成している「廃棄基準」をもとに各学校に基準の整備を働きかけた。	・今後も継続して行い、学校図書の充実に努める。

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
6	司書教諭の資質向上	指導課・学校	・各学校との情報交換及び司書教諭の指導力の向上	・年2回、学校図書館司書教諭等連絡協議会を実施し、学校図書館協力員とも連携して取り組んだ。	・年2回の連絡協議会において、他校や他自治体の取組を参考にして自校の取組を改善するなど、司書教諭の資質は向上した。今後も継続して行い、学校図書の実質を図る。
7	啓発・広報の充実	指導課・学校	・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	・各学校では、年度当初や読書旬間に図書館だよりを発行した。	・今後も、読書に関心を深めるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の充実	指導課・学校	・児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	・小・中連携教育のこだいら共通プログラムの学力の取組として、読書習慣の定着のみならず、言語活動を一層充実させた取組として、発信する力の育成を図るために「ビブリオバトル」を行った学校もあった。	・今後も児童・生徒の主体的な読書活動を活発化するための取組に努める。
9	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・放課後子ども教室における、紙芝居、読み聞かせ等の実施	・市内小学校全校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を11校で開催した。	・今後も放課後子ども教室の事業継続を図り、子どもの読書活動につなげていく。
10	学童クラブにおける図書の充実	子育て支援課	・図書館からの定期的な貸出等による図書コーナーの充実	・学童クラブに新たに701冊（うちマンガ本348冊）を購入し、充実に努めた。 加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止により小学校が臨時休業になったことを受け、追加で9,946冊（うちマンガ本2,784冊）を購入することで休業期間中の余暇活動の充実に努めた。	・今後も図書コーナーの充実を継続実施する。
11	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	指導課・学校	・特別支援学級に在籍する子どもへの読書環境の整備、個々の障がいに応じた読書推進プログラムの開発と実施	・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。	・今後も図書館と連携し、充実に努める。
		図書館		・「発達障害啓発週間関連展示」や「障害者週間特別展示」で、マルチメディアデイジー図書の視聴コーナーやマルチメディアデイジー教科書の紹介、LLブックの展示など通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。発達障害啓発週間関連展示では、障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいの子どもの持つ親の相談員）の紹介も併せて展示した。	・今後も支援を必要としている子どもや周りの大人たちに情報が届くよう努める。

(2) 図書館における読書活動の推進

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館における貸出・返却、蔵書管理等を行うためのシステム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員がシステム操作関連の相談業務等を行った。 ・蔵書点検を実施する学校に対しては、職員等が出向いて支援を行った。	・学校図書館システムに掲示板機能やメール機能、フォルダ機能を追加し、協力員との連絡や情報共有の利便性を高めていく。 ・今後もシステムが円滑に活用されるよう継続して支援を行う。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みに子どもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配布。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各 18 冊、中学生用に 18 冊を紹介したリストを公立小・中学校の子どもたち全員に配布するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生 628 冊、中学生 200 冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介していく。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館を使いこなし、利用を楽しんでもらうために高校生以上に向け企画した「大人のための図書館探検ツアー」、図書館の裏方の仕事をしてもらう「バックヤード体験講座」等の開催	・「高校生向け『図書館ボランティア体験』」 図書館の裏方の仕事、及び進路として図書館員を考える上で役立つ情報を提供した。参加：8 名 ・「夏休み家族 1 日図書館員」 小・中学生とその家族を対象として、カウンターでの貸出業務等の体験や、図書館の裏方を知ってもらう機会を提供した。参加：9 家族 20 人 ・主に小・中学生を対象として、図書館の本の分類方法（NDC）に関する問題を取り入れるなど図書館利用の支援を目的とした参加型イベント「小平市立図書館 presents 脱出ゲーム」を企画した。 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）	・今後もこの世代の関心をひくような内容の行事について検討し、継続していく。
4	小・中学校に向けた調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）と配送サービス	図書館	・授業で使用する調べ学習用図書について、テーマに沿った図書の選本と貸出、また、その配送・集配サービスの実施	・調べ学習図書の貸出： 小学校 15,250 冊 中学校 705 冊 ・学級文庫への貸出： 小・中学校 17 校 11,078 冊	・今後も調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じていく。 ・古くなった調べ学習用図書を順次新しいものに入れ替えていく。
5	小・中学校に対する学校図書館協力員の配置・研修	図書館	・市内全小・中学校に学校図書館協力員を継続して配置し、図書館職員による研修を実施	・学校図書館協力員に対し、年に 6 回、図書館職員による情報交換会を含めた研修を実施し、学校図書館システム操作、資料紹介、レファレンス演習等について学習した。	・その年の状況に合わせ、また各学校における課題に応じられるような研修内容を取り入れていく。
6	読み聞かせに関する講座の実施	地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における学校支援ボランティア対象の研修等にて図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を、16 校で 20 講座実施した。また、学校図書館ボランティアの研修・交流会を 2 回開催し、スキルアップや情報交換の機会とした。	・今後も継続を図り、子どもの読書環境の充実につなげていく。

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
		公民館	・子どもの読書に関わる講座を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【中央公民館】 子育て支援講座「子どもに寄り添う子育て～初めての子育て応援します～」の中で、「子育てに絵本を～絵本の選び方・楽しみ方～」をテーマとした講座を実施した。受講：19名</li> <li>・【花小金井南公民館】 子育て支援講座「はじめての子育て～赤ちゃんと笑顔に～」の中で、「絵本と育児本」をテーマとした講座を実施した。受講：8名</li> </ul>	・絵本をテーマに子どもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出に努める。
		図書館	・図書館員を講師とした読み聞かせの講座や絵本の紹介等	・学校や地域で子どもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ実践講座」を開催した。 全1回 参加：7名	・読み聞かせの実践の他、良質な本の選び方や読み聞かせについての講義も交え、充実した内容となっており、毎年好評な講座として継続する。
7	中学生の職場体験、大学生のインターンシップや実習生の受入れ	学校・図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ</li> <li>・司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ</li> </ul>	・職場体験として市内中学校延べ17校44名、高校生の校外活動として市内高校3名、大学生のインターンシップ2名を受け入れた。	・今後もキャリア教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため、受入れを行う。
8	市内小・中学校におけるブックトークの実施	学校・図書館	・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施	・小・中学校延べ9校からの依頼により、図書館職員が各学校に出向き、それぞれの授業のテーマにあったブックトークを行った。	・図書館に依頼を行わなくても対応できるよう学校に対するブックトーク等の研修を検討していく。
9	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	・地域で子どもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する、補助金交付や活動場所の提供等による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付のほか、協議会単独の活動場所及び共催行事の会場提供をした。</li> <li>・講演会「絵本の読み聞かせで子育てを楽しく」を、東京子ども図書館理事・風渡野文庫主宰の杉山きく子氏を講師に図書館との共催で開催した。（参加：65名）</li> <li>・講演会「むしはともだち！昆虫絵本ができるまで」を、絵本作家のタダサトシ氏を講師に図書館との共催で開催した。（参加：46名）</li> <li>・スライド講座「スライドで巡る『クマのプーさん』」を、中央大学名誉教授・前東京子ども図書館評議員の池田正孝氏を講師に図書館との共催で開催した。（参加：53名）</li> </ul>	・小平市子ども文庫連絡協議会による図書館行事への協力など、今後も相互協力していく。

## 2 新たな取組

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	学校図書館対象の講座・研修の開催	図書館	・学校側におけるブックトークや読み聞かせ等の実施のための、学校図書館協力員・司書教諭等を対象とした講座や研修の開催	・学校図書館協力員の研修を年6回行い、その中で子どもの読み聞かせにお薦めの本を持ち寄って、意見交換を行った。	・現場での実践につなげていけるよう研修を継続していく。
2	新仲町公民館・図書館[なかまちテラス]における学校連携事業	学校・図書館	・「学校連携推進館」と位置付けられている「なかまちテラス」における、学校図書館との連携推進事業機能の充実	・公民館企画事業として「なかまちテラスティーンズ委員会」を募集し、図書館のティーンズコーナーに展示をしたり、大賞作品の選定などの活動を行った。	・今後は図書館の事業として、学校・地域と連携して活動を継続する。
3	小学校入学時における図書館案内	学校・図書館	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通じた子ども用図書館案内を配布	・夏休みおすすめ本リスト配布時に、1年生に対して利用登録申込書を配布した。	・すべての子どもたちにもれなく情報が届けられるよう学校と連携していく。
4	レファレンスの充実	図書館	・子どもたちの調べ学習に役立つようなレファレンス回答例や本の調べ方の例などを各館で共有。また、小中学生に対しては、調べ学習の支援強化となる講座等の行事を開催。	・主に小・中学生を対象として、図書館の本の分類方法(NDC)に関する問題を取り入れるなど図書館利用の支援を目的とした参加型イベント「小平市立図書館 presents 脱出ゲーム」を企画した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・2020年に開催予定であったオリンピックや、専門機関と連携した「科学道100冊プロジェクト」による特集展示を行い、これらの分野の知識への新しい出会いの場の創出に努めた。	・子どもの図書館活用の支援となるよう継続的に実施していく。
5	情報リテラシーの支援	図書館	・中学生、高校生等が求める資料、情報を的確に提供するため、レファレンスサービスの充実とともに情報活用の支援を実施	・「高校生向け『図書館ボランティア体験』」の中で、中央図書館の参考資料を活用して問題解決を行うレファレンス体験を取り入れた。 ・参加型イベント「小平市立図書館 presents 脱出ゲーム」の中で、図書館の本の分類方法(NDC)に関する問題を取り入れることにより、図書館利用において、自身が必要とする情報を円滑に獲得する方法を学ぶための企画をした。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	・中学生・高校生が必要としている情報の把握に努め、それに合った情報活用について支援できるよう努めていく。
6	中学生・高校生に向けた取組の充実	図書館	・中学生以上を対象とした事業実施の検討	・図書館利用の支援を目的とする参加型イベント「小平市立図書館 presents 脱出ゲーム」を企画した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	・小学生のときにおはなし会に参加していた子どもが、中学生になってからも継続して図書館を楽しめるような事業を検討していく。 ・高校生へのアンケート結果を参考に高校生が興味を持つような行事等を検討していく。 ・「高校生向け『図書館ボランティア体験』」は、図書の排架・整架、図書の修理、行事会場の設
			・市内の都立高等学校との連携	・ティーンズ世代を対象とする図書館行事等の広報ポスターの掲示依頼を行い、対象世代に情報が届くよう協力してもらった。	

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生対象の図書館行事開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の都立高校に訪問した際に高校生から要望のあった参加型の行事「高校生向け『図書館ボランティア体験』」を開催した。参加：8名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営、レファレンス対応等の図書館業務の体験だけでなく、施設管理や図書館システム運営等、職業としての観点から図書館の様々な仕事を紹介した。夏休み期間、学校から職業体験の課題が出たため参加した、という子どもがいたことから、学校の夏休みの課題を調査し、高校生が参加しやすいよう内容の検討をしていく。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティーンズコーナーの充実 別置・展示の工夫 中学生・高校生によるティーンズ向け図書の選書 中学生・高校生によるPOPの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全館のティーンズコーナーにティーンズ世代向けの図書を収集した。</li> <li>・中央図書館では、オリンピック・パラリンピック関連展示や、科学の魅力を多様な視点から伝える「科学道100冊ジュニア」展示を行った。</li> <li>・中学生の「職場体験」の中で、図書館職員指導のもと自分たちの好きな本のPOPを作成してもらい、ティーンズコーナーに対象の本と一緒に展示した。展示場所については、コーナーを利用しなくても目に入りやすいよう通路に向けた書架を専用スペースにした。</li> </ul>	
7	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の図書の利用が困難な子どもに向けた図書を収集し、読書支援を実施</li> <li>・障がい等により図書館に来館できない子どもに対しては、施設等に出向いておはなし会を開催するなどの地域への出張サービス（アウトリーチ）を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害啓発週間の時期に合わせ、様々なハンディキャップサービスに関わる図書館資料を展示したり子ども向けの絵本のマルチメディアデジタル図書を視聴できるようなコーナーを設置するとともに、中央図書館では障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいの子どもの持つ親の相談員）の紹介等の展示を併せて行った。</li> <li>・小川西町図書館では、たいよう福祉センターで出張おはなし会を開催し、大型絵本の読み聞かせ、布の絵本・布の遊具の紹介を行った。（参加：54名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の図書を紹介することにより活字の読書が困難な子どもたちが自分に合った読書方法を知る機会を作り、読書支援を行う。</li> </ul>
8	ホームページの充実	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けのホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けの展示やイベント情報等について、写真を載せるなどしながら定期的に更新した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も頻繁に更新をし、常に利用できるよう努めていく。</li> </ul>

### 3 その他

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
1	啓発・広報	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども読書の日」等における啓発事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23日の「子ども読書の日」に因んで4月1日から5月15日までを「こだいら子ども読書月間」とし、全館で「前年度のおはなし会で読み聞かせをした絵本」の展示を行った他、各館で布の遊具・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こだいら子ども読書月間」は、全館における取組みとしていることから、市内幅広く絵本のおもしろさを伝えることができた。今後も継続して実施する。</li> </ul>

No.	取組項目	所管課	取組内容	令和元年度実績	今後の展開等
				絵本の展示やおはなし会等を開催した。	
			・図書館行事の広報	・図書館内だけでなく学校や保育園等にもチラシやポスター掲示を依頼するなど、子どもたちのいる様々な施設に対し、広報の協力を依頼した。	・広報については、ただ掲示するだけでなく、子どもたちの目に触れるような工夫が必要である。小・中学生に対しては、保護者に向けたPRのほうが効果的な場合もあるため、学校や保育園、幼稚園等を通じて情報提供していく。
			・小学校・中学校・高等学校を通じたPR	・小学校・中学校については、司書教諭等連絡協議会において年度初めに年間の図書館行事のPRを行ったり、学校の掲示板にポスターの掲示を依頼するなど学校側に協力を依頼した。	・高校生に対しては、学校における掲示だけでなく同世代の居場所の研究など情報が届けられるよう工夫する。
2	計画の推進と評価	図書館	・関係各課による、それぞれの分野における子どもの読書活動の推進事業の実施、読書環境の整備・充実	・関係各課が委員として構成される「小平市子ども読書活動推進計画検討委員会」を開催した。委員会では、進捗状況の点検・評価を行った。	・それぞれの分野における状況把握ができた。今後も関係各課と連携し、子どもの読書環境の充実を図っていく。

第 3 次 小 平 市 子 ども 読 書 活 動 推 進 計 画  
【 令 和 元 年 度 進 捗 状 況 】

発 行 令和 2 年 9 月  
編集・発行 小平市中央図書館  
小平市小川町 2 丁目 1325 番地  
電話 042 - 345 - 1246 (代表)  
電子メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp  
¥70